

会 議 録

- 1 会議の名称 令和5年度 第2回 川根本町地域包括支援センター運営協議会
第2回 介護予防・日常生活支援総合事業運営協議会
- 2 会議日時 令和6年3月1日（金）午後7時10分から午後7時30分
- 3 開催場所 川根本町役場 3階会議室
- 4 出席した者の氏名
 - （1）委員 森紀代志会長、田澤慶次委員、松葉秀基委員、渡邊克也委員、榊原一夫委員、松岡政臣委員、加藤真澄委員、薮下和英委員、澤本英季委員、諸田強委員、伊藤くみ子委員
（欠席）山下喜隆副会長
 - （2）執行機関 （事務局）高齢者福祉課
課長 竹野克彦、地域包括支援センター長 宮木清美、保健師 澤谷綾子、保健師 馬場衣海、長寿介護室 室長 中村和良、主幹 中村千鶴華
 - （3）その他 （株）サーベイリサーチセンター 静岡事務所 田原氏、長谷川氏、長嶋氏
（介護保険事業計画等策定業務 委託業者）
- 5 議事
 - （1）令和5年度 地域包括支援センター事業状況について
 - （2）令和6年度 地域包括支援センター事業計画について
- 6 資料
 - 資料1 令和5年度地域包括支援センター事業状況
 - 資料2 令和6年度地域包括支援センター事業計画
 - 資料3 参考資料〈地域包括ケアシステム構築へ向けて〉

7 発言の内容

	<p>(1. 開会)</p> <p>(2. あいさつ)</p> <p>(3. 協議)</p> <p>(1) 令和5年度地域包括支援センター事業状況について 事務局説明</p>
<p>委員</p>	<p>もの忘れ相談について、設定された日に対象の方を連れていくのは大変であると思うが、今年度の相談件数、どのような続柄の方が同行するのか、介護保険サービスを利用するのに繋がったのかを教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、川根本町の認知症サポート医は、町内の医療機関の2人の医師にお願いしている。もの忘れ相談は毎月実施しており、ホームページやLINEで周知している。</p> <p>相談件数については少ない状況である。</p> <p>地域包括支援センターでは、簡単な認知症チェックを行っている。日頃の訪問活動で気付くこともあり、家族から相談を受けることもある。認知症の疑いがある場合、医療機関へ行くことを勧めるが、本人がなかなか行こうとしないこともある。その場合に、地域包括支援センターの職員と認知症サポート医が訪問することもあり、過去には、その訪問により認知症の発見に繋がったこともある。</p>
	<p>(2) 令和6年度地域包括支援センター事業計画について 事務局説明</p>
<p>委員</p>	<p>施設の緊急ショートステイを使用する人や、その恐れのある人もいると思うが、そのような人は、家族との関係が途絶えている人が多いように見受けられる。そういう人達に予めアプローチしていくことはできるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、問題になっているのは独居の人である。何十年も前に移住した人が高齢になっている。家族と連絡ができない人もおり、連絡がとれたとしても、遠方の場合も多い。</p> <p>私共としても今後注意して対応する必要があると考えているが、地域包括支援センターだけでは限界がある。民生委員の協力を得つつ、また居住先が町営住宅の人もいるため、くらし環境課との連携し対応していきたい。</p>
	<p>(4. その他)</p> <p>特になし</p> <p>(5. 閉会)</p>

上記に相違ないことを確認する。

会長 森 紀代志